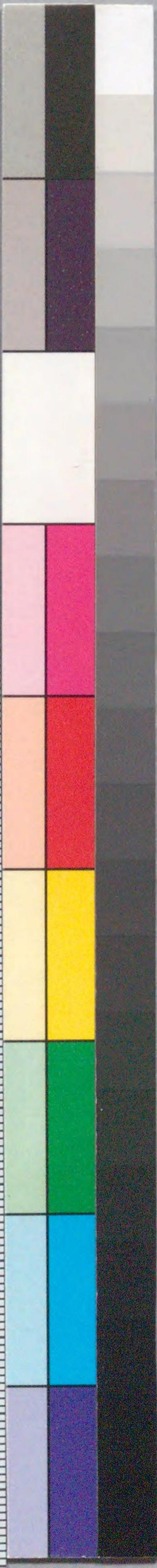


208
特別
525

高漫
至無我人鼻心神
兎



国立国会図書館 至無我人鼻心神 3巻 208-525

ガラス使用



208
525

空人如己





自序

鼻はな之の故ゆゑノゆゑカかレレトと三さん科かガが鼻はな名なト

ことよましく花はな山やまの兩りやう坊ぼう或あるは三さん本ほん松まつノの熱ねつ烟えんを

飲のむ一いつ大だい塔たう宮みやハハアア居ゐ事こと多たくくと世よ又また高たか燒やトトイイフフ手て

道みちニニアア卑ひ居ゐ事こと多たくくと世よ又また高たか燒やトトイイフフ手て

其その已い事ことハハ鼻はな街まちノの満みち路ぢヲヲ知しルル多たくく

賤せん妓ぎノの為ためニニ落おちれれども三さん星せいノの膏こう茶ちや有あり

これをはぐ叫こゑ呼よいい多たくくと今いま十じゆ六ろくのの氏うぢ以も貴たかし

身みをを多たくくと示しすすと一いつ序しよハハああるる作しやう者しやノの鼻はな名な

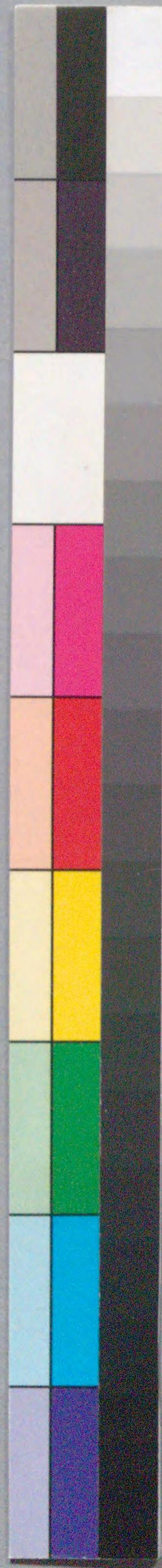
已い徳とくノのヤヤヲヲ示しすすと一いつ序しよハハああるる作しやう者しやノの鼻はな名な

見みつつるる一いつ身みノの物もの多たくくと一いつ序しよハハああるる作しやう者しやノの鼻はな名な

東











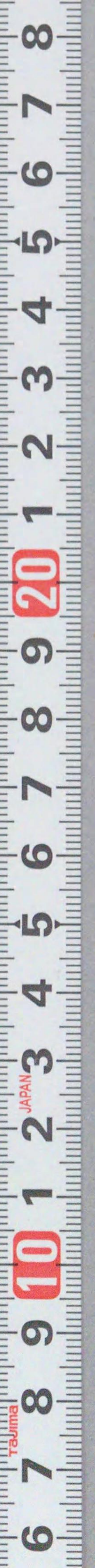




諸君は、これら... ひたすら... ひたすら... ひたすら...

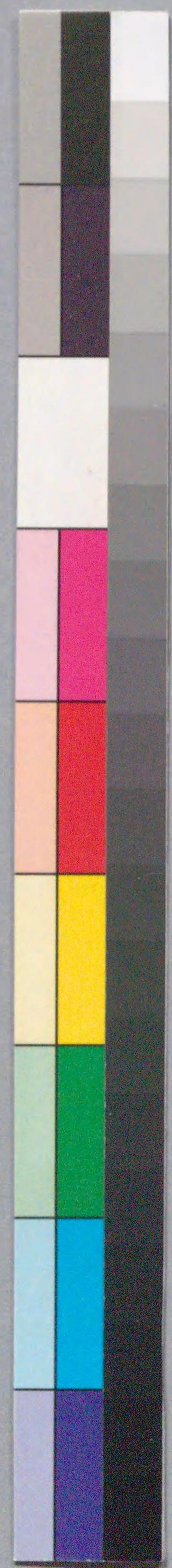
然倍... 然倍... 然倍... 然倍...











それより當時
 人ト由つふあざとん
 梅宗堂がさういふ人
 懐こつてあり立合と
 袂がし懐こもさうい
 らうとありぬれをい
 ち合として鼻とらめる
 さんありあわふさう
 小さあひかこしん
 けりて鼻と二すり
 くらう

笑人
 シタリくコレハシタリ
 まりさるせめがあらうて
 ひれつづをこ一茶と
 つけてもあ



えあひて
 わるまどやま



コレハシタリ









6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8





竹塚公羽
東子
述

まを懐三子まんぢんあつさー
あさあふりけあとうまに
らん仁屋あつそふあどち
あれもくわままどちのうらあも
あどくわまま月とむつ二日の
まも初小ねあ一あめあてそーそく中
とあくりあそのうこあまもさーんびあ
あつらとあめあつ世の人とあさあり

ワ仲なぐい余乃あうあさあ
いとまあはあさあをんあ

京傳作

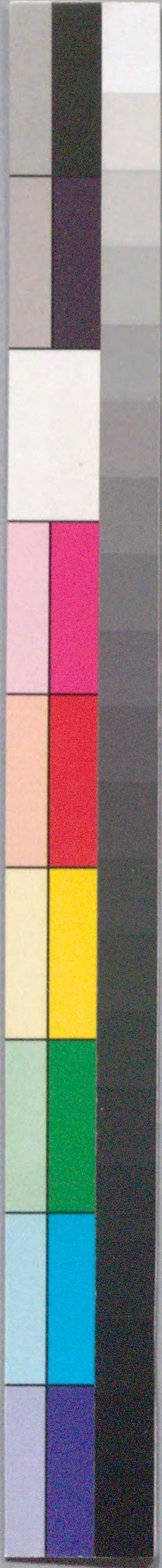
改
五

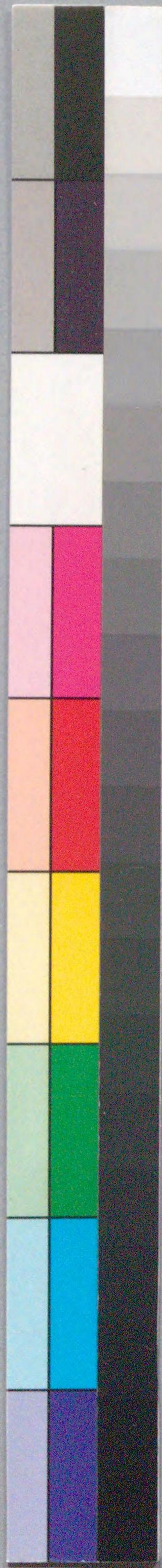


208
特
525

国立国会図書館 至無我人鼻心神 3巻 208-525

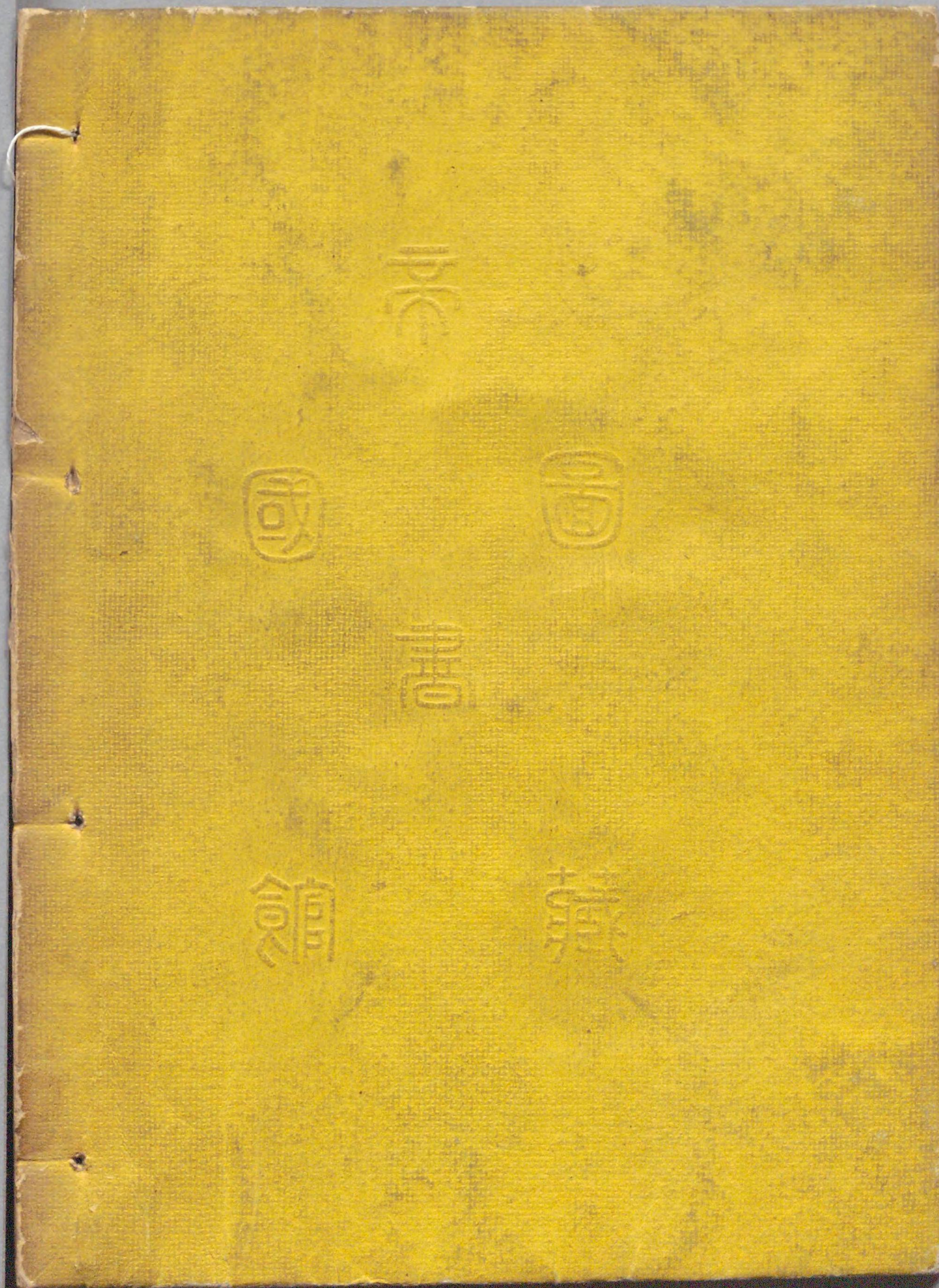
ガラス使用





国立国会図書館

至無我人鼻心神 3卷 208-525



可

書

館

司

集

印

ガラス使用

